

## 令和3年度 第5回住民自治協議会連絡会 議事概要

1. 日時：2022年（令和4年）1月28日（金） 10：00～11：45
2. 場所：市役所5階会議室
3. 参加者：沼間小学校区地域連合会（住民自治協議会）  
池子小学校区住民自治協議会  
久木小学校区住民自治協議会  
小坪小学校区住民自治協議会  
桐ヶ谷覚市長（冒頭のみ）  
地域担当職員リーダー（代理出席：青山泰紀主任）  
市民協働部（岩佐正朗部長、石井聡市民協働課長、川嶋名津子市民協働係長、今野仁介市民協働課主事）

### 4. 議事

1. 令和4年度地域づくり交付金について
2. 各住民自治協議会の活動に関する意見交換
3. その他

### 5. 資料

1. 令和4年度地域づくり交付金要望額
2. 住民自治協議会への市議会議員の参画について

### 6. 概要

#### 議事1 「令和4年度地域づくり交付金」について（参照資料1）

（市）地域づくり交付金については、基本的に各住民協より要望があったとおりとなっている。ただし、共通事業経費【防災マップの作成】について、沼間小学校区地域連合会から申請があったが、既に作成しているものを更新する形となるので、2回目の今回は45万円満額ではなく、若干減額の35万円での交付を予定している。また、地域自治に関する条例（以下、「住民協条例」）の制定について、来年度の予算案の中で、学識の方を含めた会議体を設ける想定で予算化しており、施政方針の中でも、条例化に向けての取組みに言及する。今後は1月31日からの市議会において、市が提案する予算案を審議いただく。

（意見概要）

- ・議会において、この要望額が減額されることはあるのか。

（市）議会の判断次第である。所管としては議会で理解してもらえよう、しっかりと説明を行う。

・住民協条例について、本来は自治基本条例（以下、「基本条例」とセットでの制定が前提だったはずだが、今回基本条例が凍結されることには疑問を感じている。

（市）確かに住民協条例の制定にあたって、当初は基本条例の制定を前提としていた。しかし、必ずしも基本条例がなくても、住民協条例が制定できないわけではないと考えている。

## 議事 2 「各住民自治協議会の活動に関する意見交換」について

（市）各住民協の近況についてお話いただきたい。

### 【沼間小学校区地域連合会】

（東逗子駅前広場の環境整備について）

・駅前トイレのにおい対策として、殺菌剤を使っているがそれなりの効果を確認できている。ハード面での整備も行いたものの、どうしても工事費がかかってしまうため、市と相談したい。自分達でできる対応の1つとして、（壁面等に）ペンキを塗る等の対応も考えている。

・駅前の道が狭く、車と歩行者の接触の危険性も感じる。現在、環境都市課と協議しており、歩行者が通る道を緑色に塗ってみて、視覚的に表示するのはどうかという話も挙げられている。

・駅前の道の暗さについても、1つの課題と認識している。

（デマンドタクシーについて）

・10月から現時点までの累計利用者数は184名で、その内訳は、お出かけ便（アーデン→東逗子）は71名、お帰り便（東逗子→アーデン）は113名となっている。

・利用者が多い便について、お出かけ便は10時、お帰り便は15時40分である。

・帰りは上り坂であるため、お帰り便の利用者が多いことが考えられる。

・土日よりも平日の利用が多いのは、家で運転できる人が仕事で不在、土日は病院が閉まっている等が理由ではないか。

・現在までの収支を概算で見ると、収入が4万、支出が21万となり、17万の赤字となっている。月に直せば6万～7万の赤字となるため、このままの状況では事業の継続が難しい。

・3月末までが実証期間のため、国県市の補助金の活用、諸々のデータの分析等を行ったうえで、せめて赤字を半分にする方策を模索したい。

（その他）

・防災マップの更新にあたっては、作成から5年経過したことに伴い、避難基準の変更、がけ崩れの発生もあったため、お年寄りが具体的にどこに避難すればいいのか等を、分かりやすく示したものとしたい。

・東逗子駅が70周年を迎えるにあたり、開設に際しての当時の記録や、関係者の話を何かにとまとめられないかと思っており、商工会等と協力できればと考えている。

（意見概要）

・デマンドタクシーの赤字は自治会の負担となるのか。

（沼間）実証実験期間は、市が費用を負担することになっている。期間終了後は、自分たち

で事業として運営できるよう、赤字を減らすための試行的取組み（実施日を減らす等）を行い、何とか利用料の値上げなく収支を改善したい。また、運行ルート1つ変えるにも各機関への申請、許可が必要となり、難しさも感じている。

（市）1回の乗車につき、何人の乗車で事業として成り立つのか。

（沼間）5人乗って初めて成り立つくらいである。そういう状況にあるとはいえ、乗り合いの利用者が少ないから便を運休するという取り扱いにしてしまうと、デマンドとしての自由度がなくなってしまうのが難しいところである。また、運行管理費という経費が、利用者数にかかわらず固定費として発生してしまうので、利用者数に応じて変動費的にかかる費用とならないか、管理先のタクシー会社と調整を行いたい。

・市全域で事業を行うとスケールメリットがあるのか。

（沼間）そこまでは把握できていない。デマンドタクシーを利用する人だけに費用を負担してもらおうと、成り立たないという印象を受ける。

### 【小坪住民協】

・飯島公園について、緑政課がPark-PFIを用いて、新たな民間管理者による運営を検討しており、パブリックコメント等で広く意見を求めている。当初は次の議会で議案とする予定だったが、最終的にどうなるかという部分も含めて、地域住民と意見交換等をしている状況である。

・11月に行った空き家セミナーには約30名の参加があった。セミナーへの反響の中で、高齢者から、終活セミナーの実施を要望する声があり、3月に開催する方向で調整を行っている。

・9月に完成した防災マップを用いて、防災イベントを開催するという事になった。2月26日に実施予定で、地域の親子約20組を対象に、NPO団体を招いてワークショップを行う。

・役員の若返りが顕著であり、住民協を知ってもらえるような広報活動（紙および電子媒体）に力を入れている。ウェブに明るい役員にサイトを運用してもらおうべく動いているが、より見やすいページを作りあたり、有料ソフトウェアの方が使い勝手がいいことが判明した。住民協の予算について、組織運営費としてではなく、共通事業費で広報関連費用を要望したい。

・地域店舗の廃業により、買い物難民が直近で問題となってきた。生活に密着して、かつ、毎日のことであるので、これからの課題として取り組んでいきたい。

### （意見概要）

・広報の費用について、例えば、市や交流センターの印刷機器を使えば値段を抑えることができると思うので、参考にしてもらいたい。また、SNSの活用も費用はかからない。

（市）神奈川県がウェブ等で、情報発信の方法、ツール等を紹介していたので併せて参考にしてもらいたい。

### 【池子住民協】

・コロナ禍のため、若干の停滞感はあるが、引き続き地域の見守り活動、交通安全のための旗振り活動は行っている。福祉部会も活動に対しての気持ちはあるが、一時中断してしまっている。

・まず住民協そのものを知ってもらうため、広報物を配ろうと思っている。また、住民協の意義や活動の理解の助けになるためにも規約の見直しも行っており、諸々知ってもらったうえで、住民協にもかかわってもらうというサイクルを作れればと思っている。しかし、現状としては所属しているそれぞれの自治会の活動が忙しいという雰囲気を感じており、停滞感が否めず、役員人事（担い手不足）には特に苦勞している。

・住民協としては、既存の団体の支援、新規団体の立ち上げ等のフォローのポジションを取りたい。例を挙げると、子ども向けのイベント（どんと焼き、花火の企画等）を行うやる気のある方々の支援である。しかし、住民協から団体に交付金を渡すことができないことをネックに感じるところがある。

#### （意見概要）

・やはり防災を絡めると、自分事にしやすいため興味をもってもらえると思う。

・既に活動している勢いのある団体が横につながることによって、良い流れができるのではないかと思う。

### 【久木住民協】

・子ども食堂では、コロナ前は毎回約 100 名近くの人が訪れ、世代間交流の場となっていた。久木朝市については、今後久木小学校の校庭で開催しようという話も持ち上がっており、約 16 店舗が出店を考えている。家庭菜園、三浦から仕入れた野菜の販売等が予定されており、コロナ次第ではあるが、地域とかかわるきっかけづくりの1つとして欲しい。

・担い手の確保という意味で、子育て世代の母親のアイディアは重要であり、住民協の担い手になってもらうべく、声かけを行っていこうと考えている。

・住民協の重要な役割の1つが防災・減災だと考えている。

・何か大きな災害があった時、誰がどのように避難するか、情報のルートが確立されない等の課題はあるが、市防災安全課とも協力して、引き続き体制づくりをしていかななくてはならない。

・減災マップを作ることはできたが、地域によって想定される災害（土砂崩れ、浸水被害等）も異なるため、いかに地域の方が自分事化でき、落とし込めるかが重要である。その方法の1つとして親子の減災教室の開催も検討中である。

#### （意見概要）

・防災については、何よりも継続が重要である。今後は、防災マップをデジタル化したいという考えがある。安否情報をいち早く行政と共有できるので、有効に活用できると思われる。安否情報のほかにブロック塀の倒壊状況も掲載したいが、人とお金が課題である。

・久木地区の子ども会は活発だと感じるが、どういった理由か。

(久木) 子どもが子ども会の年齢を過ぎても OB として積極的に活動してくれる方の存在が大きい。

**議事 3 「住民自治協議会への市議会議員の参画について」(参照資料 2)**

(市) 議会運営委員会(議会のあり方や、議員についての協議の場)において、標記のことについての議論があり、議員の中のルールとして、資料 2 のとおりの申し合わせ事項が決定したので、ご承知おきいただきたい。なお、各住民協においては、実情に応じたご対応をお願いしたい。

※次回の連絡会は 3 月 25 日(金)の開催を予定している。